

該当ページ⇒【有害業務】P21

◆防じんマスク使用時の注意点

- ①有害性の高い物質の取扱い作業では、密着性の高い「取替え式」を使用する。
- ②面体の接顔部には、タオルや接顔メリヤスは使用しない。
- ③酸素濃度18%未満の場所では使用しない。
- ④ろ過材の手入れの際は、圧縮空気で吹き飛ばしたり、強く叩いてはならない。
- ⑤石綿及びダイオキシン類などの有害性の高い物質を取り扱う作業については、電動ファン付き呼吸用保護具（清浄化した空気を作業者に給気、型式検定、譲渡制限の対象となった）又はこれと同等以上の呼吸用保護具を着用する必要がある。

◆防毒マスク

- ①2種類以上の有害ガス混在の場合は、送気マスクか自給式呼吸器を使用する。
また、酸欠には、無効である。
- ②粉じんが存在する場合は、防じん機能付を用いる。
- ③吸収缶の種類（*は、型式検定合格品を使用）

対応ガスの種類	表示色	
ハロゲンガス用*	灰色・黒	
有機ガス用*	黒	
一酸化炭素用*	赤	
アンモニア用*	緑	
二酸化硫黄（亜硫酸ガス）用*	黄赤色	
シアン化水素用	青	
硫化水素用	黄	
臭化メチル用	茶	

- ④防毒マスクの吸収缶が除毒能力を喪失するまでの時間を「破過時間」と言う。
- ⑤防毒マスクのしめひもは、耳にかけることなく後頭部において固定する。

該当ページ【有害業務】 P22

◆騒音用保護具

- ・イヤーマフ、耳栓を使用するが、両方併用でも良い。

◆遮光保護具

- ・作業の種類に応じて適切な遮光度番号のものを使用する。
- ・溶接作業における紫外線などによる眼の障害を防ぐために使用する。

◆保護クリーム

- ・有害物質が直接皮膚に触れないようにする。

◆その他

- ・保護めがね、保護面、防熱面、防熱衣などを必要に応じて使用する。

【ポイント】

- ・酸素濃度18%未満では、「送気マスク」又は「自給式呼吸器」を使用します。
- ・防じんマスクでは、使用時の注意点を十分に理解しましょう。
- ・防毒マスクでは、ガスと吸収缶の色の関係に注意を。

(「黄色」は硫化水素用ですが、誤りの設問で良く使用されます)

また、2種類以上の有毒ガス混在の場合は、送気マスクか自給式呼吸器を使用し、有害性の高い方に合わせるのではない点に注意しましょう。

- ・騒音用保護具では、イヤーマフ、耳栓を使用するが、両方併用でも良いことに留意しましょう。

該当ページ⇒【有害業務以外】 P47

【練習問題正答】

問題番号	正答	公表年月／問題番号
問1	(3)	R1年10月／問33
問2	(3)	H29年4月／問32
問3	(4)	H27年10月／問29
問4	(2)	H31年4月／問34
問5	(4)	R1年10月／問34
問6	(5)	H27年10月／問33 (一部修正)
問7	(4)	R1年10月／問31
問8	(2)	H27年10月／問34
問9	(2)	R1年10月／問28
問10	(4)	H28年4月／問28
問11	(4)	R1年10月／問30 (一部修正)
問12	(5)	H31年4月／問29 (一部修正)
問13	(4)	H31年4月／問31
問14	(3)	H29年10月／問34
問15	(1)	R1年10月／問32
問16	(3)	H27年10月／問31
問17	(2)	H28年10月／問30
問18	(3)	H28年4月／問30
問19	(1)	H30年4月／問30
問20	(3)	H28年10月／問34
問21	(4)	H28年4月／問34
問22	(1)	H30年10月／問34
問23	(2)	H29年4月／問34
問24	(1)	R1年10月／問29
問25	(3)	H26年4月／問29
問26	(2)	H30年10月／問30
問27	(4)	H30年10月／問28
問28	(4)	H27年4月／問29 (一部修正)
問29	(4)	H24年4月／問29
問30	(1)	H19年10月／問32
問31	(1)	H21年10月／問29